

平成 23 年 5 月

会費の見直しに関する意見募集について

NPO 法人日本心臓リハビリテーション学会 財務委員長 上嶋健治
理事長 伊東春樹

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、被災をされました多くの方々に深い哀悼の意をささげるとともに、御家族や同僚、友人を失われた皆様の悲痛、生活の場を失われた皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。

さて、日本心臓リハビリテーション学会も設立後 20 年近くを経過し、その間に NPO 法人化、心臓リハビリテーション指導士の認定など多くの事業を行ってまいりました。会員数も 7,000 名を超えてさらに増加傾向にあり、ますます本学会の社会的存在意義は高まっております。内部的には学会誌はもとより、学会員や心臓リハビリテーション指導士への教育プログラム・教材の製作など、会員サービスの充実にも力を入れているところです。必然的に教育、広報、国際交流をはじめ多くの委員会活動が活発となるとともに、新たな部会も増設されて然るべき活動経費が必要とされています。

一方で会員数の増加に伴って年次学術集会の規模も大きくなる中で、企業からの支援は減少する傾向が続いています。さらに、新型インフルエンザ流行や今回の震災などにより学術集会が中止となることも想定する必要があります。そのために学会として学術総会支援基金を創設して不測の事態に備えることも始めました。同時に学際的研究は学会の大きな使命であり、学会として取り組んでいくべきテーマには研究助成基金を創設して相応の援助を行う体制を築きました。

学会としては特に財務委員会がその個別の支出に対して厳しくその適否を審査しておりますが、学会の維持発展ならびに質の高い会員サービスの継続に不可欠な支出が、増加傾向にあることは否めません。また、今回の震災で被災された会員への会費減免措置も検討中です。現在、学会としての収入の大部分は会費収入と心臓リハビリテーション指導士認定事業に依存しています。しかし、会員数の増加にもかかわらず現在の会費では会員サービスや学会運営を継続するには必ずしも必ずしも十分とはいえない状況となって参りました。また、心臓リハビリテーション指導士認定事業収入や学術集会関連の寄付金は今後縮小が見込まれ、これらに依存し続けることはできないこともご理解いただけたと思います。

学会活動の維持ならびに発展に必要な不可欠な支出が増大する中、それに相応する収入が

見込めない状況になりつつあります。もちろん、現段階では健全な財務体質を維持していますが、今後財務的な問題を生じる危険性をはらんでいる事も事実です。

このような状況から、日本心臓リハビリテーション学会では、現在、平成 24 年度からの会費を見直すことを検討しております。学会員の皆様には現状をご認識頂くとともに、中～長期的展望から現行の会費の見直しが必要であることをご理解頂きたいと思っております。検討にあたりまして、会費の見直しに関する学会員の皆様からの御意見を募集いたします。

1. 募集期間 平成 23 年 5 月 10 日（火）から平成 23 年 6 月 30 日（木）まで

2. 提出方法

御意見には理由を付して、メールにて提出をお願いします。理由については、可能であれば、根拠となる出典等を添付又は併記してください。なお、提出していただく御意見には、「件名」欄に必ず「会費の見直しに関する意見」と明記してください。

3. 提出先

NPO 法人 日本心臓リハビリテーション学会事務局

E-mail: ja-cr-gakkai@umin.ac.jp

4. 御意見等の提出上の注意

提出するメールには、御意見とともに、下記の情報について記載をお願いします。

個人の場合 ①氏名 ②住所 ③職業 ④連絡先

法人の場合 ①法人名 ②所在地 ③担当者の氏名 ④所属及び連絡先

提出いただいた御意見については、氏名及び住所その他の連絡先を除き、原則として公表させていただきますので、あらかじめ御了承願います。なお、提出していただいたご意見に対する個別の回答はいたしかねますので、その旨御了承願います。

ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。